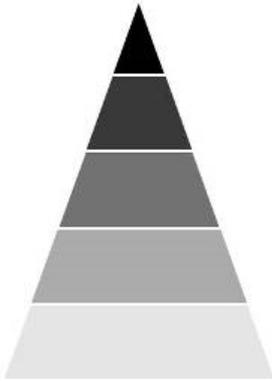
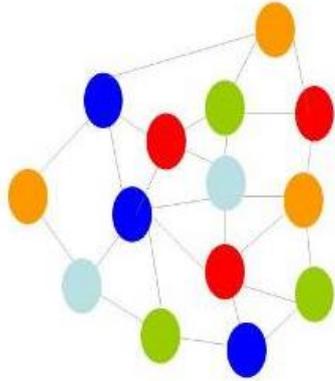


プラットフォームとは

文責 林 昌彦

1. プラットフォーム (platform) とは、周辺よりも高くなった水平で平らな場所。転じて、政策形成における「環境整備」「基盤づくり」を指す。
2. 行政単独による政策形成は、誰の目にも明らかに認識された問題 (困った、放置できないという現状) に取り組む場合が多く、緊急かつ具体的な対策を求められるので、対処療法的になりがちである。また、現場レベルでの改善活動は、目的を大きく見直したり、横断的に他の事業との関連性を考えたりすることにはつながりにくいため、前例踏襲に陥る傾向がある。
3. 地域創生は、問題は明らかであるが、対処療法では解決できない。取り組むべき課題を明らかにし、解決につながるアイデアのブラッシュアップ (磨き上げること) が必要である。すなわち、ここでいうアイデアは、単なる思いつきではない。なぜなら、アイデアとは情報と知識の蓄積があって初めてひらめくものだからである。このことは、行政単独では解決が困難であることを意味する。そこで、NPO、自治会、学校、民間企業などの多様な主体とともに、新たな課題を探索し、政策を立案・実施する取組が行われている。それは「ネットワークによる政策形成」と呼ばれる。
4. ネットワークとは、人やものごとを網状につなげたシステムである。典型例は、インターネット (複数のコンピュータネットワークを相互接続した、グローバルなシステム)。前述の多様な主体は、それぞれが個別のネットワークを作っている。だが、外に向かっては閉鎖的であることも。そうしたネットワーク間をさらにつないでいく。その効果は、異質な人と人とがつながることによって新しいものごとが生まれること。それは「創発特性」と呼ばれる。
5. ネットワークによる政策形成を成り立たせるためには、プラットフォームを必要とする。プラットフォームとは、ネットワークを通じた主体間の相互作用を活性化し、情報と知識の蓄積を促進するような「場」のことである。それはリアルであったり、バーチャルであったりする。
6. ネットワークは、目的を共有するという意味で、組織の一形態であるが、階層組織とは異なる特徴を有しており、階層組織とは異なるマネジメントの手法が必要である。

特に「協働」の名のもとに各団体が「行政の下請化」に陥らないようにしなければならない。また、民間と比べると、行政は前例や慣習、書面、手続などを重視するため、決定に時間がかかることがある。意思決定のプロセスや慣習など、あらゆる点でシステムや文化が異なることに相互理解が必要である。したがって、プラットフォームの立ち上げに際しては、ネットワークの参加者が合意形成に関わることができるルールづくりが必要である。

 <p style="text-align: center;">階層組織のイメージ</p>	 <p style="text-align: center;">ネットワーク組織のイメージ</p>
<p>階層組織は、縦の権限関係に基づく組織。企業組織、行政組織などが典型例。</p>	<p>ネットワーク組織は、活動を横に連結する組織。</p>